

本プレスリリースは文部科学省記者会、大阪本社社会部・阪神支局、神戸支局、テレビ局各社へ配信しております。



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

文科省「スーパーグローバル大学創成支援」に関学大、採択 ～学長記者会見を実施～

報道各位

関西学院広報室

日頃は、関西学院に格別のご高配を賜り、ありがとうございます。

このたび、平成 26 年度文部科学省「スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援」(タイプ B : グローバル化牽引型)に、関西学院大学の構想「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」が採択されました。

「スーパーグローバル大学創成支援」は、高等教育の国際競争力の向上を目的に、世界レベルの教育研究を行うトップ大学(タイプ A)や国際化を牽引するグローバル大学(タイプ B)を重点支援する国の施策です。今年度の新規事業で、タイプ A、タイプ B 合わせて 37 校が採択されています(申請大学数は 104 校)。B タイプ採択校 24 校のうち、関西の私立大学では本学含め 2 校が採択されました。

つきましては、本件についての学長記者会見を下記のとおり開催いたします。ご多忙中とは存じますがぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日 時 : 2014 年 9 月 26 日 (金) 16 時～
- 場 所 : 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 本部棟 2 階 会議室 6
- 出席者 : 村田 治 関西学院大学学長ほか

(関西学院大学採択プログラム概要は次頁参照ください)

関西学院大学の構想概要

採択構想名：

「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」

目的：日本と海外の学生・教職員が頻繁に行き来し協働する「国際性豊かな学術交流の母港」を整え、
本学のミッション「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成」を実現する。

特色

1. 全学生に課す「ダブルチャレンジ制度」

全学生が所属学部や主専攻の学びに加えて、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に挑戦することで、「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深める独自の教育 OS (Operating System) を導入する。アウェイチャレンジには「インターナショナル」(留学等の国際交流)、「ハンズオン・ラーニング」(社会での実践型学習)、「副専攻」(他学部での体系的な学び)の3プログラムを設ける。

2. 協定に基づく海外派遣学生数日本一

海外の大学との協定に基づく学生の海外派遣数を現在の年間約900人から2,500人にして日本一にする。

3. ガバナンス改革による総合的マネジメント実現

学長が副理事長を兼務し、教学とともに、財政、人事、施設、情報などの諸計画にも関わり、マネジメントにおいて総合的なリーダーシップを発揮できる体制を確立、総合私立大学の先駆となる「関学モデル」を提示する。

4. 国際通用性のある質保証システム構築

アメリカの全米大学協会、9つの州立大学機構等による学習成果検証方法についての新たなプロジェクトへのオブザーバー参加などを通じて、アメリカの先進モデルを本学の質保証システムの構築に援用する。

5. 大学院「国連・外交コース」や、外務省国際機関人事センターと連携したセンターの新設

複数の大学院研究科(修士)が共同で「国連・外交コース」を設置し、国際機関、国際NGO職員や外交官を育成するプログラムを体系的に整備。外務省国際機関人事センターと連携し、「世界の公共分野で活躍するグローバルリーダー」へのキャリア支援に特化したセンターも新設する。

以上